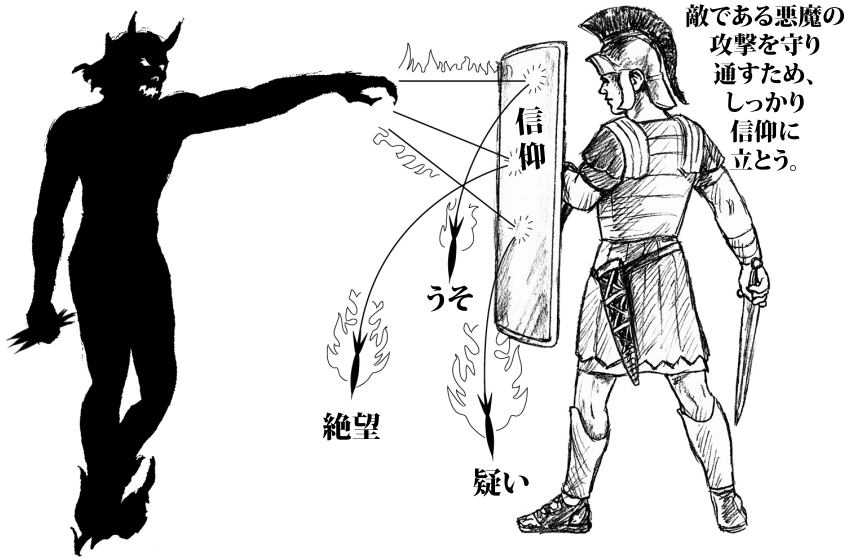
信仰に立脚せよ

悪魔サタンは、今後キリストを信じる信仰をなくすために、巧みに攻撃し始めるでしょう(第1ペテロ5:8、エペソ人6:16、マタイ伝13:3-23)。

サタンの攻撃目標のいくつかをあげてみましょう。

1. 人の心に疑いの芽を植え付けることにより、主にある喜びや永遠の命の希望をゆるがし、最終的に絶望感へと導く。
2. み言葉を曲解させたり、惑わさせることにより、真理の知識に成長させないようにする。
3. キリストの信仰を他の人々に伝えないようにする。それでは次にサタンのこのような攻撃から守るいくつかの方法にふれてみましょう。



信仰の盾:エペソ人6:10-17

1. 福音は信仰の基石といわれるがゆえ、サタンは、直ちに福音の真理を惑わすあらゆる手段を使って攻撃を開始するでしょう。この攻撃を守るのには、福音の真理にしっかり根ざさなければなりません。まず手始めに、この小冊子を一日一回、一か月読んでみてください。たとえ暗記してしまったとしても、途中の10日や15日ぐらいでやめたりしないで下さい。サタンのよく使うわなで、時間がないからとか他にしなければならない事があるからと言ったりして、気をくじかないようにして下さい。このようなサタンの使い古した手にのらないようにして下さい(マタイ伝13:1-9、19-23、8:21-22;ルカ伝10:38-42、12:16-31、14:16-20;エペソ人5:16)。

2. キリストとの交わりを確かにするためとか霊的な成長を促すために、決して神秘的な感覚に頼ったり、なにか自分の心にささやく不思議な声に従ったりしないで下さい。感覚に頼る方法は、霊的な真理に達するには、数学や地理などの科学真理を追求する方法よりも劣っています。ちょうど霧の日に地図などに頼らないで、自分の感覚だけで、何百キロも知らない奥地の道を運転し続けられますか。もちろんこんなむちゃな運転はできないでしょう。残念ながら、多くのクリスチャンはこのような生活をしているのです。

3. 霊的な真理に成長するのに、神はすでに私たちに真理の源である聖書を下さいました。この聖書を毎日読んでみて下さい。まず「ガラテヤ人の手紙」から読むのをお勧めします。これは使徒パウロが福音の弁明と恵みの原理を明らかにするために書きました。一日に一章、全部で六章のこの書簡を五回読んで下さい。およそ一ヵ月で完了するでしょう。次にこの書簡を全部通して一日一回、一月間読んでみて下さい。そうすれば信仰原理の基本と、その大切な教義を学ぶことができます。この教えは健全なクリスチャン成長に欠くことのできないものです。

感覚に頼ることはもしかしたら悪魔サタンのささやきかもしれません。信仰を神の言葉によって育てましょう。

「信仰は聞くことによるのであり、聞くことはキリストの言葉から来るのであります。」 (ローマ人10章17節)

4. 福音を正しく理解しその教えに根ざしたなら、次によい教会との交わりをお勧めします。よい教会を捜す基準は、その教会の牧師に、「どうしたら天国に行かれるのでしょうか」と質問して下さい。もし牧師が、「それは清い生活をすることだよ」とか、「十戒の教えに忠実であること」とか、「洗礼を受けること」とか、「罪の告白をすること」とか、「教会の会員になること」とかその他とんでもない答をしたら、他の教会を捜して下さい。もし牧師が福音を知らないとしたら、しかもクリスチャン信仰の基本を知らないとしたら、結局キリスト教の一番大切な真理を知っていないのです。天国に行く方法を知らない牧師の教会にどうして行く必要があるのでしょうか。正しく教える教会を捜してみて下さい。